

報道機関各位

**＼地域おこし協力隊の起業を取り巻く誤解とは／  
地域おこし協力隊 出口設計ミーティングを初めて開催します**

山形県の地域おこし協力隊員数は、150名（令和6年10月1日時点）となっています。多くの隊員が着任され、様々な地域協力活動に取り組まれています。退任後の仕事や暮らしに不安を抱えている方が少なくありません。

今回、FURUSATOの未来 代表 伊藤一之 氏（中山町地域おこし協力隊OB）を講師に迎え、下記のとおり、地域おこし協力隊 出口設計ミーティングを初開催します。県内の協力隊経験者もパネリストとして参加しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

**1 日時及び場所**

	日時	場所
第1回	令和6年11月28日（木） 10時～15時	庄内町文化創造館 響ホール 小ホール
第2回	令和6年12月5日（木） 10時～15時	Link MURAYAMA リビングスペース
第3回	令和6年12月10日（火） 10時～15時	伝国の杜 置賜文化ホール 第1・第2小会議室

**2 内容**

- 10時～12時 地域おこし協力隊任期終了後に向けての対策ワークショップ  
《言語化から出口戦略へ》
- 12時～13時 ランチ交流会
- 13時～15時 協力隊経験者とのパネルディスカッション・振り返り

**3 対象者**

「令和6年6月1日以前」に着任した県内の地域おこし協力隊員  
（主な対象は2年目以降の隊員。ただし、半年以上活動している1年目の隊員も参加可能。）

**4 講師** FURUSATOの未来 代表 伊藤 一之氏  
（中山町地域おこし協力隊OB）

<問い合わせ>

山形県みらい企画創造部 移住定住・地域活力創生課

課長補佐 酒井 電話 023-630-2235

〔報道監〕 重要プロジェクト等推進監（兼）次長 相田